

第5回鯨城・堀川清掃大作戦開催要項(案)

NO:1

9-4

訂正 ; 平成28年6月27日

鯨城堀川清掃大作戦実行委員会

注)アンダーライン部は昨年と変更箇所。

- 目的** 名古屋市高年大学鯨城学園、鯨城会、学生会、鯨城・堀川と生活を考える会が一丸となって、堀川上流(元杵樋門)から下流(港新橋)までと、新堀川(堀留)から内田橋まで、を一斉清掃し社会貢献を図る。各拠点橋には、実施表示看板、参加団体ののぼり旗を設置して、市民への浄化啓発とALL鯨城のPRを図る。
- 日程** 11月5日(土) 予備日11月12日(土)
- 清掃区域** 元杵樋門～港新橋まで全長16kmと新堀川堀留から内田橋、宮の渡し公園を清掃区域とし全体を11拠点に分割し清掃活動を行う。
- 清掃時間** 清掃開始 午前10時00 清掃終了 午前11時30分
- 主催** 鯨城・堀川清掃大作戦実行委員会
(鯨城学園・鯨城・堀川と生活を考える会・鯨城会・学生会)
- 後援** 名古屋市・堀川1000人調査隊実行委員会
- 参加人員** オール鯨城として **目標 1,000名**
鯨城会 430名
学生会 430名
鯨城・堀川と生活を考える会 140名
学園(先生) 8名
今年も目標とするが良いか?
全会員の74%。但し、毎年5割近くは鯨城会から参加
- 中央集会**
場所 第4拠点 納屋橋 シャムズガーデン
時間 午前 9時20分集合 9時30分～9時50分
出席者 名古屋市市長、緑政土木局長と河川部長を予定
名古屋市環境局地域環境対策部長、中・中村土木所長を予定
堀川1000人調査隊実行委員会を予定
鯨城学園副学長、鯨城会会長、学生会会長
考える会代表、副代表、第4拠点長と参加者 全員
- 本部の設置** 各拠点の進捗状況の把握と救護指令及び各拠点へメディア来訪等の情報伝達。
構成 考える会 2名、鯨城会 2名、学生会 2名、鯨城学園 2名

10 組織構成



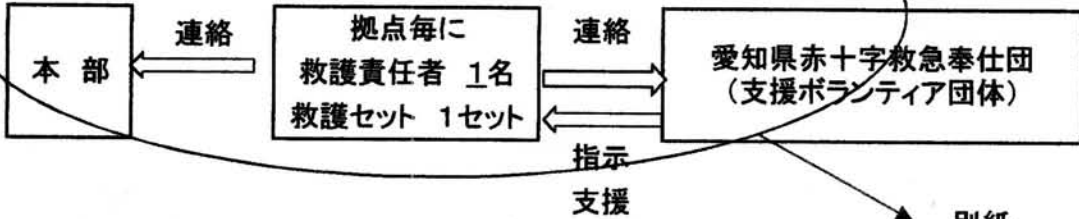
11 各拠点の動き

集合時間 午前 9:50分 (除く第4拠点) 清掃開始 午前 10:00～
拠点責任者(考える会)は、AM9:50挨拶・注意事項を説明し、終了時ゴミ袋確認と(数、場所)集合写真を撮影した後解散する。
各拠点責任者は清掃開始時人員確認と適宜作業の状況を本部へ連絡、11:30清掃終了時 参加者全員の健康確認をし本部へ連絡する。

12 支援体制

NO:2

愛知県赤十字救急奉仕団(ボランティア団体)が、各拠点に配置する。(予定) 人員 1名(運転手含む)、車両 1台、担架 1台



病院への搬送は、各拠点責任者が支援者と相談判断とする。

別紙

13 雨天時の対応

午前6時58分NHK天気予報で午前中の降水確率が**50%以上**の時中止とする。

中止の時は"考える会"実行委員会より、学園、鯨城会、学生会の本部要員お及び関係各所に速やかに連絡する。

14 服装 Tシャツ(学生時代に着用したTシャツ)又はベスト、ジャンパー 着用とする。

15 保険 ボランティア保険は、未加入者(鯨城会、学生会、学園、考える会)は一括で加入予定。

16 区割り 別表の通り
17 拠点までの交通 別表の通り
未加入者の氏名のリストの作成をお願いします

18 火バサミ 名古屋市より借用 700本 用済後返却
不足分 考える会100本

19 収集袋 可燃45L×220枚、不燃45L×120枚、資源 0枚 小袋10L(手付き)600枚

20 広報活動 在名の報道各社に取材依頼を行う。
PETボトルは可燃、缶は不燃

21 のぼり旗掲揚 各拠点の橋で、のぼり旗を掲揚する。
(考える会、鯨城会、学生会、1000人調査隊、堀川応援隊各1本)

22 参加者全員に"名古屋の名水"と"軍手"を配る。

《注意事項》

今年も市から受領できないか交渉中(担当レベルからは了解を頂いている)

経環部

- (1) 安全第一で作業にあたること
(清掃作業は歩道のみで車道・駐車場は範囲外とする。)
十分な体調管理に気を付け、異変を感じたときは直ちに作業を中止し本部へ連絡する。
- (2) 十分な水分補給
- (3) 帽子・手袋・安全な履物等の着用